

## 特別講演要旨

### 動物園と動物たち、そして人

赤 迫 良 一

(株)池田動物園

#### 1. はじめに

いろいろな殺伐とした出来事を耳にすることの多い昨今、人が人間らしく生きていくためには生き物たちの姿をもう一度見つめなおす必要があると思います。そのためには、幼少期に動物園で生き物とふれあう、接することが非常に大きな意味を持つと考えます。動物園には教育、レクリエーション、自然保護、研究の4つの機能があります。しかし、レクリエーション以外の部分はなかなか受け入れていただけない現状です。すばらしい設備を持ってそういう効果を狙った展示を行われている園館もありますが、私立の動物園ではなかなか叶わないのも、また現状です。私どもの小さな動物園の、動物たちとのふれあいや接触を通して生き物たちへの関心を深めていただこうとする試みをご紹介します。

#### 2. 池田動物園の概要

県内唯一の動物園として1953年の開園以来52年の歴史があります。岡山市中心部に近い京山に位置し、緑に囲まれた動物園です。

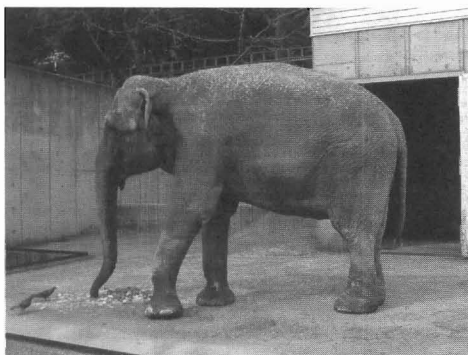


正面入り口

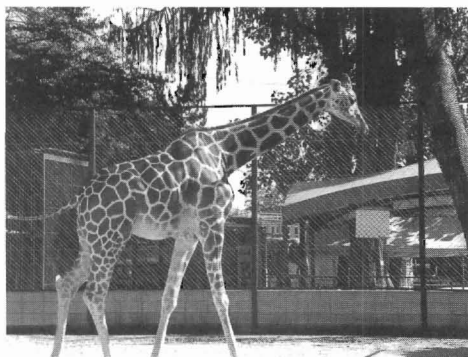
現在、動物園として代表的なゾウ、キリン、ライオンをはじめペンギン、レッサーパンダなど130種700点を飼育しています。最近のニュースとしては1月1日の元旦にアメリカバクの赤ちゃんが誕生し二重のおめでたとなりました。また、今話題のレッサーパンダの風太君のように池田動物園のレッサーパンダは立ち上がりませんので、少し流

行に乗り遅れてしまった感じです。

展示動物の主なものはアミメキリンの「桃花」で今4mくらいあります。インドゾウの「メリー」今年で40歳になりました。



インドゾウ



アミメキリン

ライオンの「モジロー」は5才でやっとたてがみが立派になっています。レッサーパンダの「ユウユウ」ジャイアントパンダに押されていますがとてもかわいいです。マゼランペンギンと今年生れの雛です。チンパンジーの「トム」です。チリーフラミンゴとその雛です。この雛は去年生れです。最後にアメリカバイソンの「ボブ」でこう見えてとてもおとなしいです。こういった動物たちを展示してお客様にご覧いただいているわけですが、動物は飼育管理を毎日行わなくてははいけませんので、入園収入に頼っての経営というのはなかなか厳し

いのも事実です。

### 3. 動物園の機能

ただ、動物園は利潤追求ということばかりにはいかず、次のような役割を元に運営されています。

- ① レクリエーション これは楽しい時間を過ごしていただくアミューズメント的な部分です。
- ② 教育 生きている動物を見ながら学ぶことのできる部分です。
- ③ 自然保護(種の保存) 動物園で希少な動物を保護したり殖やしていく部分と、動物の生態を理解してもらうことで生息地を守らなくてはという気持を育む環境教育に結び付いていく部分です。
- ④ 研究・調査 繁殖と飼育技術の向上により飼育動物たちに長生きしてもらうという部分と、その技術を野生動物の保護へフィードバックしていく部分です。

以上のような機能を持っていますが、お客さま自体はこの中でもレクリエーションの部分、レジャーとしてとらえられている方が圧倒的に多いと思います。このことは他のアミューズメント施設との競合となり、競争に打ち勝つには今までと視点を変えないといけないのも事実です。また、最近では動物たち、飼育動物を含めて関心も高く動物園に対しての批判も多くいただきます。

### 4. 動物園に対するご批判

ひとつは動物たちを閉じ込めた形で見せることの意味が問われています。これはエサを与えることでの動物たちの余暇の過ごし方と、時間をもてあますことから来る精神的なストレス等による動物たちの福祉の部分です。また、現在では実際に容易に映像や現地で動物たちを見る事ができるのに、狭い空間に閉じ込めてまで見せる意味があるのかという部分もあります。次は生態系とかけ離れた形での種の保存のあり方です。事実飼育化ではうまく飼育されているものも、いざ野性に戻すとな



生態展示施設

るとハンティングなどの野生感の欠落やヒトに対する恐怖心のなさからくるヒトとのトラブル等で野生復帰の難しさが言われています。これは自然環境化で絶滅しながら動物園で生存しているという部分の不自然さを指摘されています。最後は大規模な資本を投下した擬似生態系再現型の大型施設が多くの人々の共感を得ているかどうかという部分、そして、それだけの投資を現地の環境保全に向けることのほうが効果があるのではなどの疑問も出てきています。こういった批判に対しては、動物関連の仕事を持つものとして真摯に受け止める必要があると思います。そして、動物の精神的なケアについては少しでも和らげる飼育管理を行うことは当然だと考えます。

### 5. 動物・人を取り巻く環境

こういったお考えの方ばかりだと起こるはずのないようなことが、毎日のように報道機関で伝えられます。環境破壊、動物たちと人とのトラブル、戦争や不幸な事件事故の話題が後を絶ちません。あくまでも私見ではありますが、子供の頃から生き物と接しない暮らしやいろいろな技術進歩によって自然とかけ離れたことで生じた生物学的リズムの乱れ、化学物質による影響が関係しているのではないのでしょうか。

### 6. 動物園の存在価値

一般的には、気楽に訪れることができて遊びの中や楽しく過ごす中で、実際に生き物に見て触れて学ぶことができれば、命の教育や自然環境の保全という難しい課題も割と自然に身につけていくことができると思います。そういう点できっかけ作りができる場所として動物園は最も適した施設ではないかと考えています。



行動展示施設

それには生態的な展示や行動展示により興味を持ちやすい空間の演出をする方法があります。これにはもちろん多額の資本の投資が必要なことも

ありますが、動物園に来られる方にアンケートを行ったところエサを与えたいとふれあってみたいが大半を占めました。この二つはむしろきっかけとしては大変重要な方法であると思いました。

## 7. 池田ZOOの取り組み

そこで次のような取り組みを行っています。

### ● ピーちゃんとお散歩



ピーちゃんとお散歩

これは人工孵化によって生まれた人馴れしたフラミンゴが観客通路を歩いて、触れ合ったり写真を撮ったりすることができます。最初は恐がるお子さんもすぐに慣れて楽しそうにさわって「羽は柔らかい」といった感想を述べる方もいます。

### ● お世話体験

「お父さんとチャレンジ」ということで普段仕事で忙しいお父さんといっしょに動物たちのお世話に挑戦していただき、楽しい父の日をすごしていただいています。

### ● 歯の衛生週間イベント



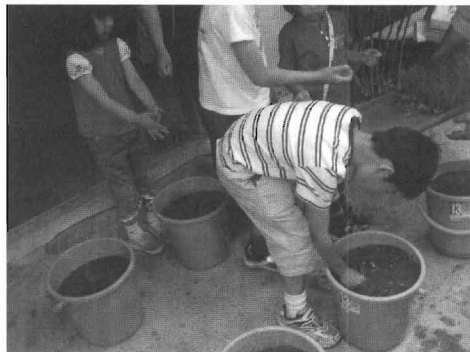
ルビーと歯みがきしよう

「ルビーと歯みがきしよう！」ということで歯みがきをするチンパンジーを題材に、お子様方に

歯の健康への関心を深めていただいています。また、動物たちの能力にも注目してもらっています。

### ● 池田ZOO 自然教室

「お米作り体験」動物園では身近な自然の仕組みを理解してもらうため植物の栽培や竹やドングリ



お米作り体験

などの工作遊び、昆虫採集などを体験してもらっていますが、これは動物にとっても人間にとっても欠かせない食物を育てる過程を経験してもらっています。

### ● 小学生飼育体験教室(サマースクール)



サマースクールでのエサやり体験



ボランティア活動

夏休み小学生の方に一日飼育係として掃除、エサ作り、エサやり、工作やお絵かきなどで動物についての勉強を体験してもらっています。

#### ●夜の動物観察会

夏の夜、動物たちを観察しながら飼育係の話を聞いて、昼間とちがう動物たちを見てもらっています。

#### ●池田 ZOO ボランティアーズ

ふれあい広場で小動物の触り方の指導やゾウやキリンなどの解説、いろいろなイベントの手伝いを通して、来園の方が気軽に動物のことを知ったり関心を深めてもらう活動をしてもらっています。

## 8. まとめ

このように動物園では動物とふれあったりエサを与えていただく試みを多く行なっています。これは、自然と触れ合いその中で命を学ぶ機会が多かった以前に比べ、現代の生活ではなかなか体感できない『命』に接する機会を提供できると考えるからです。楽しみながら、そして遊びながら『命』を学べる場として動物園はなくてはならないものです。このことを多くの方に伝え理解してもらうことが動物園の役割であり、わたしたち動物にかかわる人間の責務だと考えます。